

第64回学術講演会（ファジィフロント）のお知らせ

日本知能情報ファジィ学会関東支部では、“*Emotional Engineering*”をキーワードとして学術講演会を開催いたします。どなたでも自由に参加できますので、お誘い合わせの上、直接会場までお越しください。

■テーマ：『*Emotional Engineering* の新たな展開』

人間の内面状態を考慮したシステム設計が求められるようになったことを反映して、“感性”、“感情”、“情緒”などの用語を工学に冠する研究領域が増えてきた。最近では最も包括的な概念として、“感性”という用語が使われることが多い。しかし、“感性”の中核は“*emotion*”であることから、“*Emotional Engineering*”も新たな発展を遂げている。そこで、“*Emotional Engineering*”の最前線で活躍されている先生方に、“*Emotional Engineering*”の基本的な理念、最近の発展・展開に関してご講演して頂きます。

■主催：日本知能情報ファジィ学会関東支部，日本人間工学会感性情報処理・官能評価部会，日本感性工学会感性商品研究部会共催

■日時：平成21年12月19日（土）14：00～17：00

■場所：文化女子大学・新都心キャンパス A151教室

（新宿駅南口から甲州街道に沿って初台方向へ徒歩7分）

<http://bwu.bunka.ac.jp/access/access.html>（交通アクセス）

http://bwu.bunka.ac.jp/outline/map_s.html（キャンパスマップ）

■参加費：無料

■講演者及び講演内容：

14：00～15：15 障子：雰囲気情報を伝達するコミュニケーション端末

酒造正樹，山田一郎（東京大学）

人と人の対面コミュニケーションにおいては、言語による明示的な情報だけでなく、身振りや感情などの人に関する情報や周囲の環境情報など、いわゆる雰囲気情報が大きな役割を果たしている。一方、遠隔コミュニケーションにおいてはこれが失われがちである。そこで我々は、離れて暮らす親と子世帯を対象に、雰囲気情報の伝達システムを提案している。今回、開発した雰囲気コミュニケーション端末「障子」について紹介する。

15：15～15：45 休憩

15：45～17：00 *Emotional Engineering*：行動の合理化への模索

福田収一（Stanford University）

Emotion は、e=out, movere=move から来ている。すなわち、外部への行動がまず基本にあり、行動－刺激（感情）サイクルが前提となっている。人間は、短期期待は合理的に行えるが、不確実性が増大する長期期待では、感情が判断、行動に大きな影響を及ぼすとされる。本講演では、不確実性が増大する今日、行動を合理化するための視点から感情を考えてみたい。

■問合せ先：山下利之（首都大学東京人文科学研究科人間科学専攻，TEL：042-677-2101，Fax：042-677-2100，E-mail：yamashita-toshiyuki@center.tmu.ac.jp）